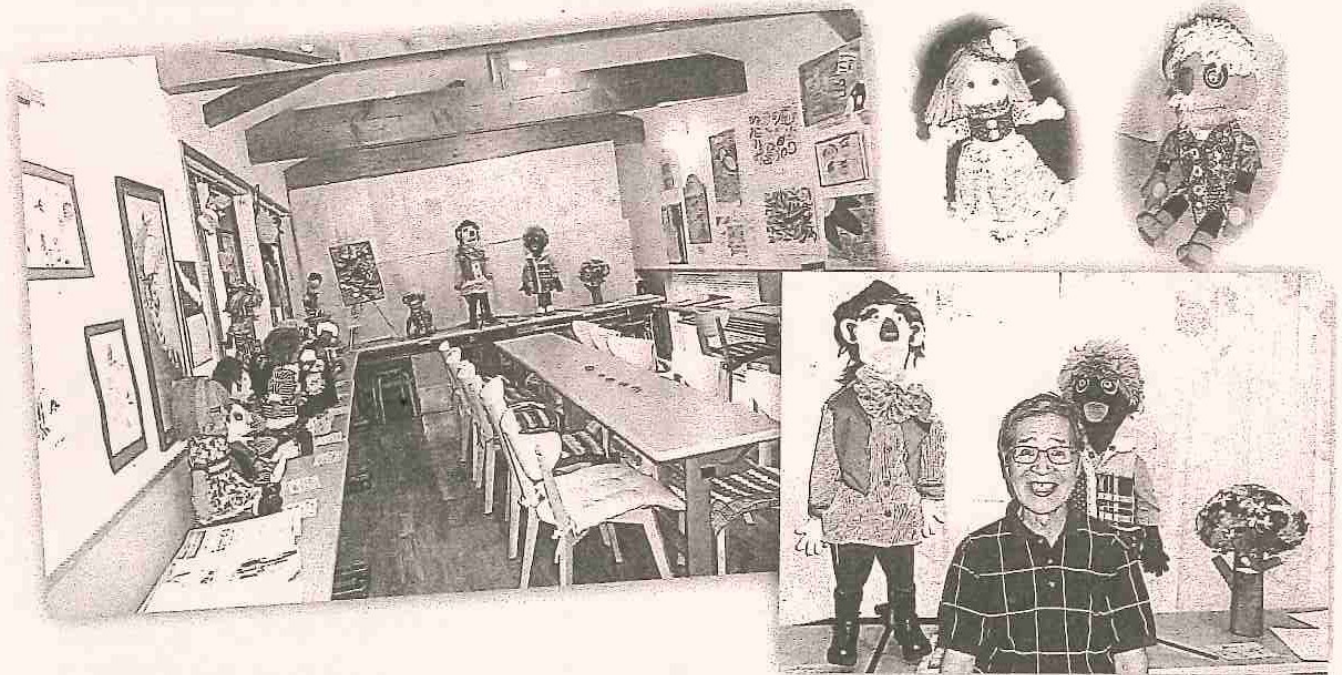




ダメジャーと仲間たちの作品展



えんの森アトリエでえん関係者の作品展が開催されました。主宰者の中曽根夫妻は、妻は元ケアサポートえんのヘルパーで今は頼もしいボランティア、夫は妻の紹介で退職後送迎などの有償ボランティア、そして知る人ぞ知る腹話術師「ダメジャー中曽根」です。展示作品は、お二人が昔仕事にいらした和服の柄の図案、腹話術の人形、そしてスタッフの子どもたちの絵や工作。長い首がはみだしそうなキリン、見ていると吸い込まれそうな宇宙、着物の柄まで丁寧に表わした七五三の絵日記。大きな鉛筆の中にそれぞれ表情の異なる小さな鉛筆たち。その発想、色づかいに心が躍ります。その中に、えんの利用者さんの俳句も入れて頂くことに。作られたその時の表情、子どもの頃のこと、両親のこと、故郷のこと、目を輝かせて話して下さったことが思われ、時を忘れてしまいます。

最終日と重なった「だれでも食堂」では、展示された人形の腹話術が行われ、拍手喝采だったとか。次の機会には、地域の方にも色々な形で広がっていき、多勢の方が参加して下さいと嬉しいですね。

(デイホームえんボランティア／阿保きく)